

第 38 回日本診療放射線技師学会参加報告

札幌医科大学附属病院 田仲健朗

2022年9月16日から18日に神戸コンベンションセンターで開催された第38回日本診療放射線技師学会に参加しました。今回も前年と同様Webを併用したHybrid開催で行われましたが、一般演題を含め会場口述発表の割合が前年と比較して増えてきており、会場に来ている参加者も多くなっているようでした。特にランチョンセミナーでは人気の会場では300人以上並んでおり、コロナ禍前の学会大会に戻りつつあると感じました。

私は画像等手術支援分科会による3D画像作成ハンズオンセミナーの講師を担当しました。座長が藤田医科大学病院の井田義宏氏、脳神経領域を柏葉脳神経外科病院の平野透氏が担当され、私は心大血管領域を担当しました。20台のワークステーションで1台を1人で操作するという形式で行われ、その周囲に分科会委員がチューターとして配置され、遅れている受講者をサポートする形でハンズオンは進められました。ハンズオンでは受講者のスピードに合わせていけなければならないので、ハンズオンの進め方や時間配分など難しい面もありますが、今回は時間が90分でしたので何とかやり遂げることができたと思います。

ここで、画像等手術支援分科会について紹介させていただきます。手術支援画像については施設間・作成者間で3D画像の質に隔たりがあるのが現状です。そのため標準レベルの画像構築について専門技術の向上を図るため、2016年度に画像等手術支援分科会は発足され、私は今年度より分科会委員として活動させていただいております。当分科会では学会大会でのシンポジウムやハンズオンセミナー、認定講習会など様々な活動を行っておりますので、ご興味のある方はぜひ当分科会の企画にご参加ください。

今回、学会に参加して様々な方と交流することができました。これは現地参加ならではの、今後も積極的に参加していきたいと思いました。



3D画像作成ハンズオンセミナー会場。沢山の方々に参加していただきました！！